

最強のベーシストが注目のベース用エフェクターをチェック!!

Check



CANTA やダイダ・ライダなどでスーパー・テクニックを披露するMASAKI。そして、ブル・ゼッケン88やキューベレイで超絶プレイを聴かせるIKUO。プロ・ミュージシャンも一目置くふたりのベーシストが、気になるベース用エフェクターを試奏してくれた。全ベーシスト注目の企画だぞ!! ※WeROCK 036 より

IKUO VS MASAKI

—まずは、ベーシストに人気のロシア製のビッグマフの発展系モデル、デラックス・ベース・ビッグ・マフです。MASAKI: ファズっぽい、独特のツブが粗く大きい歪みですね。で、このクロスオーバーというツマミで、もうひと押し音作りができると。僕だったら、ずっと踏みっぱなしで使うというよりも、ベースがピックアップされた時に、飛び道具みたいに使うのが効果的だと思う。

IKUO: 僕は、ブレンドというツマミがいいと思いました。原音を混ぜられると音ヤセを防げるので、ソロで弾いてもゲインが下がらずに歪みが作れると思うんです。あとは、その、ドライ音にかけられるロー・パス・フィルターが、とくに効きますね。最近のダブステップみたいなジャンルで使うとか、おもしろい歪みの効果音とかイケるような気がします。ブレンドをうまく使って歪みを細かく設定すれば、パッキングでも使えなくないと思います。サステインを稼ぎたいとか、ビッグマフらしからぬ使い方もできるかもしれないですよ。ロー・パスを使って、ヘヴィ・ロックみたいな音もイケるかもしれないし。

MASAKI: 実態はないけど、ローはあるみたいな使い方とかね(笑)。

—ここからはベース用エフェクターを多数発売しているタウラスの製品になります。まずは、オーバードライブであるAbigar Silver Lineです。

IKUO: これは、いいですね。なんか、アンペグっぽい歪みというか。

MASAKI: ナチュラルな歪みだね。

IKUO: アンプの歪みっぽいというか、歪んでるけど、ちゃんと原音が聴こえてくるんですよ。歪んでるのに音圧が減ることもなく、音ヤセもないですし、ベースとトレブルというEQもあるので、それで補正できてパッキングでも使えます。ローBもしっかり鳴ってくれるので、ソロ用というよりもパッキングでかけっぱなしで使えます。

MASAKI: ふうんに使えるよね。好みとしては、Vintage-MIX-Modernスイッチをモダンにして使うパターンかな。このセッティングにするとキラキラと歪んでくれるので、どうせならガッチリと歪ませて使ったほうがおもしろいかなと。“もう、歪んでる”という使い方だね。歪みのツブが細かいので、耳に痛くもなくフレーズも見えし、ホント、使いやすいよ。

—そのVintage-MIX-Modernスイッチというのは、どういう特徴があると思いませんか？

MASAKI: 歪みのキャラクターが、ぜんぜん違う。

IKUO: モダンのほうが、高域が多いですよ。よりブライトな感じがします。—あえて、両者の意見を食い違いさせますが、パッキングでイケる派と飛び道具派と(笑)。

MASAKI: いや、どっちでもイケるよ(笑)。レスポンスもいいし、かなりい

いね。

—ちなみに、これはベース用の歪みエフェクターなのですが、歪みエフェクターはギター用とベース用でぜんぜん違いますか？

IKUO: ぜんぜん違いますね。

MASAKI: 昔は、ギター用しかなかったから、しょうがないから使ったりしてたけど(笑)、近年のエフェクターって言ったらね。

IKUO: 近年は、いろいろなベース・エフェクターがありますよね。僕が使っているコンプもベース用なんですけど、同じメーカーでベース用って付いてないモデルを試すと、ぜんぜん違いますもん。それに、ベース用のほうがノイズが抑えられてたりすると思います。ギター用をベースで使って、原音とレベルを合わせるとノイズがすごいですよ。ベース用エフェクターは、そのあたりも考えられてるんじゃないですかね。ベース用の帯域が考えられているんですよ。

—さて、今度は、コンプレッサーです。タウラスのTUX Silver Lineで、これはリミッターとしても切り替えられるというエフェクターです。

MASAKI: これは、いいですね！効きがハッキリしている。輪郭が出てくれるのでベースの存在が増し、各ツマミのキャラクターがしっかりしているんですよ。コンプのエフェクターのなかには、かかっているのか、かかってないのかわからないナチュラルすぎるモデルもあるじゃない？これは、しっかりとかかるね。僕は、リミッターとしてよりもコンプのモードがよかったな。

—リミッターとコンプで、どう違うんですか？

MASAKI: リミッターのほうが、コンプよりも落ち着いた感がありますよね。コンプのほうが、しっかりスケてくれる。僕が大事にしているのは、サステインの長さなんだ。速弾きとかタッピングというのは、サステインが長いほうがやりやすいんですよ。そういう意味では、コンプのほうが長くなるから、コンプのほうが好きですね。

—IKUOさんは、かなり気に入っているようでしたが。

IKUO: いいですね、これは。コンプマニアの僕としても、そうとういいですね。リリース・ツマミがないんですが、そのぶんリリースが自然なんですよ。ちゃんとベース用に考えられているんでしょうね。ツマミが4つあるので難しいかなと思ったら、それぞれがわかりやすい。ノイズも少ないし、音ヤセも皆無なので、すごく余裕が感じられるんですよ。音が太くなるし、ローBも広がりを持ってグッと締まってくれる。これ、そうとう使えるんじゃないですかね。あ、僕もコンプのモードのほうがいいです。歪みエフェクターとつなげた時の相性もよさそうだし、ちょっと久々に欲しくなるエフェクターを見つけちゃいました(なんと、この試奏のあと、本当に購入されました)。

エレクトロ・ハーモニクス Deluxe Bass Big Muff (ディストーション) ¥26,250



〈仕様〉 ●コントロール: ヴォリューム、ブレンド、トーン、サステイン、ゲイト、クロスオーバー (HPF / LPF)、クロスオーバー・スイッチ、バイパス・スイッチ、入力パッド・スイッチ ●入出力端子: インプット、アウトプット、ダイレクト・アウト、DIアウト ●外形寸法: 144 (幅) × 119 (奥行き) × 60 (高さ) mm ●重量: 580g ●電源: 9v 乾電池 (付属) or 9vDC アダプター (別売)

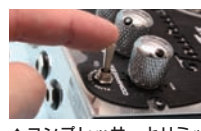
タウラス Abigar Silver Line (オーバードライブ) ¥22,050



▲歪みのタイプを使い分けるスイッチ付き

〈仕様〉 ●コントロール: ヴィンテージ/モダン切り替えスイッチ (ミックスも可能)、ドライブ、レベル、ベース、トレブル ●入出力端子: インプット、アウトプット ●外形寸法: 122 (幅) × 144 (奥行き) × 65 (高さ) mm ●重量: 650g ●電源: 専用アダプター (12v / 100mA)

タウラス TUX Silver Line (コンプレッサー/リミッター) ¥23,100



▲コンプレッサーとリミッターは、スイッチで切り替え

〈仕様〉 ●コントロール: リミッター/コンプレッサー・スイッチ、コンプレッサー (スレッシュホールド)、レベル、レンジ (コンプレッサーが効く周波数の幅を調整)、パンチ (アタック) ●入出力端子: インプット、アウトプット ●外形寸法: 122 (幅) × 144 (奥行き) × 65 (高さ) mm ●重量: 650g ●電源: 専用アダプター (12v / 100mA)

—ちなみに、おふたりのコンプ選びのポイントと言えば？

MASAKI: 僕は、やっぱりサステイン。IKUO: 僕は、スラップした時のハリハリ感、あとはローBをグッとタイトにしてくれること。それから、原音を変えないコンプですね。よく、ローが削られてハイ・ミッドが強くなる傾向があるんですが、そうではないのが好きです。

なおかつ、音が、ややブライトになると歪みを合わせた時に生きてくるんですよ。そういう意味で、このコンプは理想に近いですね。

—さて、かなり高評価のコンプの次は、タウラスT-Di Silver Line(プリアンプ/ DIボックス)です。

MASAKI: このメーカーのものは、ベースの特性にピッタリきますね。これは、

タウラス

T-Di Silver Line (プリアンプ/ DI ボックス)

¥26,250



▲多彩なスイッチで音色が作り出せる

〈仕様〉 ●コントロール: ヴィンテージ/モダン切り替えスイッチ(ミックスも可能)、ゲイン、ベース、トレブル、ボリューム、ベース+/、トレブル-/+、パンチ・ボタン、フット・スイッチ・モード切り替え、グラント/リフト・スイッチ ●入出力端子:インプット、アウトプット、XLR アウトプット ●外形寸法:122(幅)×144(奥行き)×65(高さ)mm ●重量:600g ●電源:専用アダプター(12V/100mA)

タウラス

Vechoor Silver Line (コーラス/フランジャー・ペダル)

¥26,250



▲こちらも、スイッチでコーラスとフランジャーを選択する

〈仕様〉 ●コントロール: モード切り替えスイッチ(フランジャーA/コーラス/フランジャーB)、デプス、スピード、デチューン、エンハンサー ●入出力端子:インプット、アウトプット ●外形寸法:122(幅)×144(奥行き)×65(高さ)mm ●重量:650g ●電源:専用アダプター(12V/100mA)

ロジャー・メイヤー

Voodoo-Bass Classic (ディストーション/アクティブ・スプリッター)

¥41,790



〈仕様〉 ●コントロール: ゲイン、トーン、アウトプット ●入出力端子:インプット、ハード・ワイヤード・アウト1(電子回路を通らないアウト)、バッファ・アウト2&3 ●外形寸法:116(幅)×90(奥行き)×50(高さ)mm ●重量:340g ●電源:9V乾電池 or 9VDCアダプター(別売)

ラジアル

BASSBONE (プリアンプ)

¥50,400



〈仕様〉 ●コントロール: プースト、ハイ、ミッド、ロー、レベル2、レベル1、プースト・アサイン・スイッチ、チャンネル1コントロール・スイッチ、XLR グランド/リフト・スイッチ ●入出力端子:インプット(1&2)、XLR アウト、ループ、チューナーアウト ●外形寸法:175(幅)×108(奥行き)×54(高さ)mm ●重量:1060g ●電源:15V専用アダプター

名前の通り、プリアンプだったりDIとして使うとパッチリでしょう。ある程度、これで自分の音を作って、アンプとPAに送るといいよね。一歩進んだエフェクター、みたいな感じがする。コントローラーでいうと、感度を増加してくれるというパンチ・ボタンがいいね。ずっと、押しっぱなしにしておきたいぐらい。音のスケがよくなります。

IKUO: パイパス音と比べると、明らかに音圧が上がるんですよ。トレブルを使うと、しっかりとハイが出るので、パンチ・ボタンでうまくミッド・レンジを使うと、いろんな音が作れる気がします。明らかに通すと、音がよくなるというカリッチになります。ワン・ランク上の音になりますよね。

—かなりの好評価だったタウラスからの最後は、コーラスとフランジャーを切り替えられるというVechoor SilverLineです。

MASAKI: フランジャーとコーラスとなっているけど、コーラスの域が強いエフェクターだね。フランジャーとしては、コーラスの揺れが激しいみたいなタイプに感じられた。で、音色としては、ナチュラルというよりも個性的な方向かな。ウネリに個性がある気がしました。IKUO: ステレオ・コーラス的な広がりを求めるタイプではなく、このコーラスのトーンを使うタイプですよ。フランジャーもコーラスの一種みたいな効きですね。

—続いては、ロジャー・メイヤーの製品で、ベースの定番ディストーション、Voodoo-Bass Classicです。IKUO: レイド・バックしたサウンドが作れますね。アクティブ・ピックアップのベースではなく、パッシブのプレバみたいなタイプのベースで弾くと、プリッとしていいと思います。

MASAKI: 僕は、以前、前のタイプのVoodoo-Bassを使ってたんですよ。でも、歪ませて使うのではなく、エフェクトはオフにしてアクティブ・スプリッター(アンプを2台で使用する場合やエフェクトを並列で接続する2系統に分けるアウト)として使ってた。エフェクトがオフでもバッファが入っているので、音ヤセせずに、2つに分けることができるんだよね。それに、音が暴れなくなって、収まりもよくなる。歪みは、ビッグマフよりも、さらに暴力的なトーンですよ。プレイで取り込むなら、さらに超飛び道具としてじゃないですかね。

IKUO: あと、ノイズがないのは優秀ですよ。

—そして、このコーナー最後は、ラ

ジアルのBASSBONEです。

MASAKI: ふだん、このメーカーのDIを使っています。これは、ベースの持ち替えをする時に、補正するみたいな使い方がいいんじゃないかな。

IKUO: 個人的な感じではなく、あくまでも補正ですね。

—これは、DIとしての使用も可能ですが、ベースストにとって、やはりDIというのは重要ですか?

MASAKI: もちろん。そこからPAに行くわけだから。僕の場合は、エフェクトを通った音をDIに通してPAに送っています。

IKUO: 一緒ですね。

—インディーズ・バンドがライブ・ハウスなどでライブをやる場合、多くはライブ・ハウスのDIを借りて行なうことが多いですが、マイDIを持ち込むというのも考えられます?

MASAKI: こだわりがあるんだったら、そうだろうね。あとは、そこにいくケーブルも大事だったりします。

—ところで、今回、IKUOさんのベースにはエリクサーの新製品である弦が張ってありましたが、どうでした? MASAKI: あれって、ハーフ・コーティングとかかな?

IKUO: 新製品のモデルで、もともとのモデルより、コーティングが薄くなったみたいですよ。

MASAKI: 昔、僕もエリクサーを使ったことがあるんだけど、その時よりも、ずいぶんとテンションも柔らかくなって、いいね。コーティングという感じもしない、ふつうの弦みたいで、すごくいい。

IKUO: エリクサーって、“一度、試したけどやっぱりやめよう”という人が多いと思うんですよ。そういう人って、値段が高かったり、テンションが強かったり、コーティングのせいでブライトさが欠ける、ということをあげるんですね。今回のモデルは、まずコーティングの方式が変わって、これまで以上に倍音が出てくれて、さらにテンションも柔らかくなってます。なおかつ、持久力も維持してくれているので、これは最強じゃないかと。ちなみに、こないだのTMRのツアーで6本ライブがあったんですが、一度も弦を張り替えてないです。サビずに、音色の変化もなく、どこ会場でも安定した音を出してくれます。そういう意味で、ツアーをするベースストには、とてもPAさんにありがたがられる弦だと思います。弾くほうのコンディションが、つねに同じというのはすごくいいですよ。

番外編



エフェクターじゃないですが!?

エリクサー
NANOWEB ベース弦
¥5,700(4弦) & ¥7,100(5弦)

※ 多種類なゲージで発売中!
問: 日本ゴア(株) <http://web.gore.co.jp>